

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	カナグル錠 100 mg	市販直後調査 平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月
(英名)	CANAGLU Tablets 100mg	
(規格・含有量)	1 錠中、カナグリフロジン水和物 102mg(カナグリフロジンとして 100mg)を含有	
(一般名)	カナグリフロジン水和物錠	
(メーカー名)	田辺三菱	
【薬価収載日】	2014 年 9 月	
【薬価】	1 錠:205.5 円	
【薬効コード】	873969	
【薬効分類名】	SGLT2 阻害剤 -2 型糖尿病治療剤-	
効能・効果	2 型糖尿病	
用法・用量	通常, 成人にはカナグリフロジンとして100mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②重症ケトosis, 糖尿病性昏睡又は前昏睡の患者〔輸液及びインスリンによる速やかな高血糖の是正が必須となるので本剤の投与は適さない。〕 ③重症感染症, 手術前後, 重篤な外傷のある患者〔インスリン注射による血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。〕	
相互作用	他剤作用増強 ジゴキシン 本剤他剤作用増強 糖尿病用薬(スルホニルウレア剤, 速効型インスリン分泌促進薬, α -グルコシダーゼ阻害薬, ビグアナイド系薬剤, チアゾリジン系薬剤, DPP-4 阻害薬, GLP-1 受容体作動薬, インスリン製剤等)、血糖降下作用を増強する薬剤(β -遮断剤, サリチル酸剤, モノアミン酸化酵素阻害剤等)、利尿作用を有する薬剤(ループ利尿薬, サイアザイド系利尿薬等) 本剤作用減弱 血糖降下作用を減弱する薬剤(アドレナリン, 副腎皮質ホルモン, 甲状腺ホルモン等)、リファンピシン、フェニトイン、フェノバルビタール、リトナビル等	
副作用	重大な副作用 低血糖、脱水、腎盂腎炎 その他 無症候性低血糖、頻尿、血中ケトン体増加、便秘、口渇 等	

(薬品名)	グラナテック点眼液 0.4%	市販直後調査 平成 26 年 12 月～平成 27 年 6 月
(英名)	GLANATEC ophthalmic solution 0.4%	
(規格・含有量)	1mL 中、リパスジル塩酸塩水和物 4.896mg(リパスジルとして 4.0mg)を含有	
(一般名)	リパスジル塩酸塩水和物点眼液	
(メーカー名)	興和	
【薬価収載日】	2014 年 11 月	
【薬価】	1mL:451 円	
【薬効コード】	871319	
【薬効分類名】	Rho キナーゼ阻害薬緑内障・高眼圧症治療剤	
効能・効果	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合: 緑内障、高眼圧症	
用法・用量	1回1滴、1日2回点眼する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
副作用	その他 結膜充血、結膜炎(アレルギー性結膜炎を含む)、眼瞼炎(アレルギー性眼瞼炎を含む) 等	

削除医薬品通知

●4月1日より

グルコバイ錠 100 mg	4/1 削除
パントシン散 20%	4/1 削除
グロブリン筋注 450 mg/3mL「ベネシス」	4/1 削除
ピバレフリン点眼液 0.04%5mL	4/1 削除
イソジンゲル 4g	4/1 削除
アドエア 100 ディスカス 60 吸入	レルベア採用のため 4/1 削除
アドエア 250 ディスカス 60 吸入	レルベア採用のため 4/1 削除
パロチン錠 10mg	経過措置終了のため 4/1 削除

医薬品剤形追加通知

今回採用医薬品

●4月1日より

アルタット細粒 20%

医薬品規格追加通知

今回採用医薬品

●4月1日より

献血ヴェノグロブリン IH5%静注 10g/200mL
リクシアナ錠 60 mg

医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）

従来採用医薬品（削除）

●4月1日より

オキサリプラチン点滴静注液 50mg「NK」
オキサリプラチン点滴静注液 100mg「NK」

エルプラット点滴静注液 50mg
エルプラット点滴静注液 100mg

適応追加通知

ジェイゾロフト錠 25mg	【効能・効果】 うつ病・うつ状態、パニック障害、 外傷後ストレス障害
スンベプラカプセル 100mg	【効能・効果】 セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善
ダクルインザ錠 60mg	【効能・効果】 セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善
ドプラム注射液 400mg	【効能・効果】 4. 早産・低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作) ただし、キササンチン製剤による治療で十分な効果が得られない場合に限る。 【用法・用量】 4. 早産・低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作)： 通常、ドキサプラム塩酸塩水和物として初回投与量 1.5mg/kg を1時間かけて点滴静注し、その後、維持投与として 0.2mg/kg/hr の速度で点滴静注する。なお、十分な効果が得られない場合は、0.4mg/kg/hr まで適宜増量する。
ペントシリン注射用 1g ペントシリン注射用 2g	【用法・用量】 ピペラシリンナトリウムとして、通常、成人には、1日2～4g(力価)を2～4回に分けて静脈内に投与するが、筋肉内に投与もできる。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、1回4g(力価)を1日4回まで増量して静脈内に投与する。 通常、小児には、1日50～125mg(力価)/kgを2～4回に分けて静脈内に投与する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、1日300mg(力価)/kgまで増量して3回に分けて静脈内に投与する。ただし、1回投与量の上限は成人における1回4g(力価)を超えないものとする。
点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」 点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	【効能・効果】 <適応菌種> バンコマイシンに感性的ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP) <適応症> 敗血症、肺炎、化膿性髄膜炎